

## NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会 「すべての子どもに豊かないのちを」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 松本謡子
3. 日時：2016年11月30日（水）13:50-15:30
4. 場所：愛知教育大学附属岡崎中学校 愛知県岡崎市明大寺栗林1
5. 参加者：中学1～3年生480名、教員27名、PTA6名、保護者52名
6. 実施報告：

PTA主催「教育文化講演会」として、「すべての子どもに豊かないのちを」と題し講演を行った。地球規模課題に広く目を向け、また、それらの課題を抱え厳しい現状を生きる子どもたち一人ひとりの声に耳を傾け、最後に私たちにできることを自身に問いかける構成で実施した。地球規模課題として、貧困、経済格差、安全な水へのアクセス、児童労働、紛争等を取り上げ、体験活動として途上国の子どもたちが水汲みをしている様子を写真で紹介した後、代表生徒3名による水汲み体験の時間を設けた。ケニアやタンザニアで実際に使われているタンク、ザンビアで頭に乗せて水を運ぶバケツ、棒の両端にバケツをぶら下げるラオスのセットを用意した。なかなか持ち上がらない様子や上手く歩けない様子が伝わり、また、重さを実感した感想が発表された。安全な水へのアクセスが不可能な状況に生きる子どもたちや人々へ思いを馳せると同時に、日本に暮らす私たちのライフスタイルについて考えるよう促した。また、貧困や紛争等により子どもの権利が守られていない現状や、可能性が閉ざされている子どもたちが豊かないのちを生きるためにはどうしたらよいか問いかけた。講演者自身がタンザニアで出会った少女のケースストーリーを紹介し、支援が生み出す可能性や小さな変化が希望につながることを伝えた。

### 7. 所感：

積極的に体験活動や質疑応答で手を挙げてくれる生徒が多く、全体的にも真剣に話に耳を傾けてくれる姿勢を大変嬉しく思った。体験活動は代表生徒のみになってしまうが、実感を持って水汲みの大変さに理解を深めてくれたのではないかと感じた。途上国で使用している実物を使って体験してもらうことがインパクトを生み出し、学びを深めることにつながると感じた。保護者の参加も多く、帰宅後に家族で世界の問題に目を向けていきたいとの感想も寄せられた。

### 8. 別添（写真）



講演している様子



講演を聴いている生徒たち